

取手市環境審議会 会議録

件 名	令和 5 年度 第 3 回取手市環境審議会
開催日時	令和 6 年 2 月 13 日(火)10:00～
場 所	取手市福祉交流センター多目的ホール
出席者	・環境審議会委員:7名 ・事務局 8名
欠席者	環境審議会委員:1名

令和 5 年度第3回取手市環境審議会

【次第】

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. あいさつ
 - (1) 市長あいさつ
 - (2) 新任委員あいさつ
4. 協議事項
 - (1) 令和6年度取手市一般廃棄物処理計画策定に伴う一般廃棄物排出量抑制のための方策(案)
5. 報告
 - (1) 取手市再生可能エネルギー導入計画について
 - (2) 令和 5 年度再生可能エネルギー導入可能性調査(茨城県事業)について
6. その他
 - (1) 第4回環境審議会の開催予定について
7. 閉会

令和 5 年度第3回取手市環境審議会**1.開会(事務局)**

委員の半数以上が出席していることから、取手市環境審議会条例第6条第2項に基づき、会議が成立していることを報告。

2.委嘱状交付

新任委員となるキャノン株式会社の伊東 輝久委員に市長から委嘱状が交付された。

3.あいさつ**(1)市長あいさつ**

本市ではコロナ禍以降、ごみの総排出量が減少傾向にある一方、プラスチック製容器包装のリサイクル率向上が課題となっている。そこでごみの減量及びリサイクル率向上を目指し持続可能な社会の形成に取り組んでまいりたい。また本日の議題である再生可能エネルギー導入計画

については、皆様からの意見をもとに 2050 年カーボンニュートラルに向けた本市の再生可能エネルギーの導入に向けた方向性について取りまとめることができた。本日は委員の皆様にご意見をいただき活発な議論となれば幸いです。

(2)新任委員あいさつ

伊東委員よりあいさつがあった。

4.協議事項(事務局)

令和6年度取手市一般廃棄物処理計画策定に伴う一般廃棄物排出量抑制のための方策(案)について、配付資料にもとづき事務局が説明を行い、委員が質疑応答を行った。

【委員からの質疑および事務局からの回答】

〈委員〉

取手市では、廃棄物等減量等推進員が 84 名いらっしゃると思うが、活動状況について伺いたい。また、ごみ集積所の管理についての問題をよく耳にする。外国人転入者を含む市民へのごみ分別方法の周知、啓発の取組についても伺いたい。

〈事務局〉

新型コロナウイルス感染症の影響から、廃棄物等減量推進員会議を書面で開催している。ごみ集積所の管理問題については、地域の方や外国人転入者向けに案内板の作成し、また集合住宅に関しては、管理者や所有者等に連絡し対応を求めている。

〈委員〉

リユースに関する「おいくら※」の取組は、ものが大切にされるということで素晴らしいと思う。例えば幼児やこども用品等のリユース活動を子育て支援センター等で行っているか。

※リサイクルプラットフォームを通じたネット型リユース事業

〈事務局〉

把握する限りでは、市では行っていない。他自治体の取組を調査し、担当部局に確認したい。

〈委員〉

ごみ減量の課題について、現状の取組で十分であれば従来の取組を延長していけば良い。一方で、ごみの増加量が、許容の範囲を超える場合は、取組を加速させ、市民や事業者の理解を得るために、情報発信の方法を精査し、分かりやすい発信に努めることが望ましい。

〈事務局〉

家庭ごみ排出量実態調査(以下、モニター調査)で収集したデータを分析し、ごみ減量の取組への理解促進や、それらの取組を加速するための施策を考えていく。

〈委員〉

ごみ減量に関する課題について、短期的に取り組むべき課題と中期的な課題が混在している。そのため課題を整理し市民の皆さんに理解を得やすい伝え方を考える必要がある。

〈事務局〉

常総環境センターでの可燃ごみ処理がひっ迫している状況が現在も続いている。しかし一方で、市から排出されるごみの量は減少傾向に落ち着いてきている。可燃ごみについては喫緊の課題であるため、市民の皆様にご自分ごととして捉えていただけるように情報発信をしているが、効果が実感できていない。そのためモニター調査によって市と市民の皆様のギャップを埋めていきたい。

〈委員〉

モニター調査の結果を市民にフィードバックをすることで、ごみ減量や分別に関する理解が促進され具体的な改善につながる。モニター調査を含め、取組を深掘りしても良いと思う。

〈事務局〉

モニター調査のデータ活用方法について、審議会で様々なご意見をいただくとありがたい。ごみの排出者とのギャップを埋めるために、直接話し合う機会を増やししながら、どこにギャップがあるのかを探し、対応を考えていきたい。

〈委員〉

事業所の食品残さや農業から排出されるもみガラ等をバイオマス燃料に活用する構想はあるか。

〈事務局〉

エネルギーに転換するための課題やコスト面の理由から、現時点ではバイオマス燃料活用の構想はない。長期的には検討していく課題である。

〈委員〉

モニター調査の参加世帯数の目標を500世帯と設定していたが、参加世帯数が目標数に達していない理由を伺いたい。

〈事務局〉

モニター調査の募集については、現在も引き続きホームページや SNS 等で周知している。またモニター登録時に各世帯にごみ袋や計量器具を提供するとともに、6 か月間及び 1 年間計量を継続していただいた世帯にクオカードを進呈するとしている。しかし、朝の忙しい時間に毎日ごみを計量するのは手間がかかることからなかなか協力が得られない状況となっている。

〈委員〉

取手西小学校で給食残さを利用して作られた堆肥の行き先について伺いたい。

〈事務〉

主に取手西小学校の校内にある花壇の堆肥として使用している。また、市内の対象地区内の協力世帯が排出している生ごみを収集し、堆肥化する生ごみ堆肥化事業では、年に1回配布会を開き、登録世帯に生ごみ堆肥を配布している。

〈委員〉

ごみへの意識が低い市民に対し、ホームページのレイアウトや動画による視覚化でごみ関連の web サイトへのアクセスを促すことで、全体の意識の向上につながると考えられる。

〈事務局〉

調査検討していく。

協議事項(1)令和6年度取手市一般廃棄物処理計画策定に伴う市内一般廃棄物排出量抑制のための方策(案)について、原案の通り承認された。

5.報告事項

(1)取手市再生可能エネルギー導入計画について

取手市再生可能エネルギー導入計画について、配布資料にもとづき事務局が説明を行い、委員が報告事項の確認を行った。

【委員からの内容確認及び事務局からの回答】

〈委員〉

太陽光発電以外のエネルギーの可能性について報告書に示されていないと感じる。例えば太陽熱では費用が安く、自治体での導入事例もある。

〈事務局〉

太陽熱はポテンシャル調査の対象外である。一方で地熱についてポテンシャルがあるが、コスト面等で課題がある。2030年に向けた再生可能エネルギーの導入目標について太陽光について重点的に示しているが、今後、新たなエネルギーについて調査研究していく。

〈委員〉

計画で示されている施策案の指標について、数値は今後検討していく理解で良いか。また再生可能エネルギー導入目標については、確定された目標値となっている。施策に対する丁寧な説明を求める。

〈事務局〉

「再生可能エネルギー導入目標」については、国の目標をもとに定めたものである。2030年、2050年の脱炭素を目指すうえで、まずは高い目標を掲げて脱炭素を目指していきたい。施策については、今後の取手市地球温暖化防止実行計画(区域施策編)の改定時に、再生可能エネルギー設備の導入だけでなく、再エネの購入も併せて考えていかなければならないと捉えている。

〈委員〉

例として取手庁舎に太陽光パネルを導入し、設備投資や年間の金額などの数値を示すことで、市民に分かりやすく説明できると考えている。

〈事務局〉

市役所では省エネルギー診断を受診し、各公共施設の省エネルギー化によるエネルギーやコスト削減について分析をしている。診断結果をもとに、取手市地球温暖化対策推進本部で公共施設における省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入を効果・効率的に進める資料として活用している。

〈委員〉

EVの導入を促進する場合、その電源として再生可能エネルギーの導入も併せて検討することでより二酸化炭素の排出削減が見込める。また、EVの公用車や路線バスを購入する場合は、低電費なEVを選択することで二酸化炭素の排出を削減できる。

〈委員〉

2050年カーボンニュートラル目標に向けて燃料転換の必要性があり、これから電化を進める中で、どういう優先順位で取組を行っていくかよく検討することが重要である。

(2)令和5年度再生可能エネルギー導入可能性調査(茨城県事業)について

令和5年度再生可能エネルギー導入可能性調査(茨城県事業)について、配布資料にもとづき事務局が説明を行い、委員が報告事項の確認を行った。

【委員からの内容確認及び事務局からの回答】

〈委員〉

導入可能性調査を行った公共施設はどのような選定基準になっているのか。

〈事務局〉

ハザードマップを基に浸水区域を除いて、県と調整して太陽光発電設備が比較的を導入しやすいような施設を選定した。

〈委員〉

浸水可地域の学校には導入する予定はないのか。

〈事務局〉

今回の調査では、ハザードマップ浸水区域外を選定したが、浸水区域への対応は今後の検討課題である。

6.その他

(1)第3回環境審議会の開催予定日について

事務局より、第4回環境審議会の開催予定を3月26日火曜日とし、場所は市役所の議会棟大会議室を予定との通知があった。

7.閉会(事務局)